

代理店経営情報

シンニチ
代理店版

前回は、生産性の低い代理店の持つ美学をひもくことで、高収益を実現する代理店のあり方についてお伝えしました。今回は、顧客と交わす独自の「約束」が代理店のビジネスモデルの変革にもたらす大きな影響について、「一緒に考えたい」と思います。

「商品に独自性がある」

プロ代理店が選ばれる時代

「商品力」が求められる

あなたの会社は、「うちの代理店は、商品に独自性がある、商品力が優れている」と自信をもって言えるでしょうか。経営する上で、「商品力」は非常に重要な要因です。にも関わらず、保険代理店の「商品力」が話

「商品力」とは「約束」

「商品力」とは顧客と交わした独自性のある

題になることは、ほとんどありません。代理店とは、「保険募集(販売)は、代理業であり、商品づくりは保険会社の管轄だ」という意識が強いのでし

よ。もちろん、製販分離を否定するつもりはありません。しかし、これらのプロ代理店は、特に「商品力」にこだわる必要があります。

「独自の約束」が必要

健康な体をつくるフィットネス産業においても、スポーツジムのような長期・低価格スタイルもあれば、ライザップのような短期集中のスタイル、スイミングやヨガを売りにするスクールスタイルなど、その組み合わせも含めてさまざまなスタイルで顧客と「約束」をしています。

例えば、保険の活用方法をわかりやすく紹介する専門知識を提供することで、顧客は自分が求める商品を探さなくても手に入れることができます。そして、その専門性が高いかたがでしよう。

あなたは、顧客と交わす独自の「約束」とはどのようなものでしょう。一度、考え直してみたいかがでしよう。

した「約束」だと言えるのです。この「約束」に他社との違いがなければ、競争が激しくなり、この「約束」に独自性があれば、競争することなく、顧客から選ばれるのです。この独自性のある「約束」を果たせる代理店が「商品力のある代理店」だと言えるのです。

私たちは、「顧客に優れた価値を提供するため」に、商品やサービスをどう変えればよいのだろうか」と常に自問し続ける必要があるのです。その積み重ねが顧客と交わす独自の「約束」となるのです。

商品力が問われる時代

商品力とは?

顧客と交わす独自の「約束」

「商品力」 ≧ 「営業力」

誰も教えなかった! 69 保険代理店が「家業」から「企業」になる方法

シリーズ3

株式会社ブレインマークス
代表取締役 安東 邦彦



【プロフィール】
「情報提供型」営業を支援するマーケティング・コンサルタント/保険代理店のブランド化・営業の仕組み化を提唱している。著書:「営業のミカタ」運営組織、保険と保険営業の社会的価値研究会
<http://www.hoken-kachi.com/>

社長が3か月不在でも
持続成長する代理店を目指す!

「約束」と言い換えることができます。あなたは、代理店をスタートすると同時に、たぐさんの「約束」をしてきたはずで、銀行融資のような契約の形をとる場合もあります。それがただではありませぬ。顧客の心の中に、期待をつくり出すことも、約束のひとつです。広告を出せば、見込み顧客は、自分好みのサービスを提供し、かつ彼らが過去に関わりをもった

「約束」をつくり上げていくことができるので